

福祉灯油 政府が財政支援へ 〈2008年以来〉 紙議員、真下道議、森氏の要請にこたえる

市町村が低所得者向けに灯油購入費を助成する福祉灯油事業について、紙智子参院議員は28日、政府に財政支援を要請しました。これを受けて総務省は、3月中に財政支援する考えを示しました。

参院議員会館で総務省と厚労省に要請をしたのは紙議員と真下真下道議、森つねと道国政相談室長です。紙議員らは「冷蔵庫のような室内で我慢している高齢者もいる」と実態を伝え、「国の財政支援があれば実施するという自治体もでて」と国の支援を求めました。道内の灯油代はアベノミクスなどの影響で5年前の約1・6倍にもなっていますが、福祉灯油を実施しているのは道内自治体の約8割にとどまっています。

総務省の担当者は「3月の特別交付税で措置するよう検討する」と答えました。国が福祉灯油への財政支援を実施するのは2008年以來となります。



福祉灯油の財政支援を政府に迫る紙議員(中央)。その左は真下氏、右は森氏=2月28日、参議院議員会館

オール十勝でTPP阻止 十勝「食と農のつどい」に300人

十勝の音更町で2月11日に、日本共産党十勝地区委員会が主催する「食と農のつどい」が開かれ、約300人が参加しました。

近隣自治体の町村長や議長らも参加する中で、紙智子参院議員が国会報告。環太平洋連携協定(TPP)について



国会報告する紙議員=2月11日、音更町

米国内での「参加反対」の動きも紹介しながら、「国内の反対運動を強めましょう」と呼びかけました。参加した高橋正夫本別町長は「オール十勝で反対し、子どもたちに夢のある十勝をバトンタッチしたい」と語りました。

福祉灯油に背を向ける公明党

札幌市議会は2月18日の厚生労働委員会で、市民から出されていた「福祉灯油の実施」を求める陳情を、自民、民主、公明の反対で不採択としました。公明党はこの5日前の13日に、道内選出の議員が衆院予算委員会で福祉灯油の支援を求めており、傍聴席からは「国会での質問はパフォーマンスだったのか」と怒りの声が上がりました。

【お知らせ】

国会議員団北海道事務所の職員が3月から次の通りとなりました。
所長 岡田晋一／事務局長 小泉健一郎／事務所員 青野道子

ながらく所長を務めた島垣正信さんは退任され、事務局長の馬場龍次さんは党北海道委員会勤務となりました。
よろしくお願ひします。

ブラック企業・雇用問題を考えるシンポジウム

- 3月15日(土) 午後6時(5時40分開場)
- 会場 かでる2・7(札幌市中央区北2条西7丁目) 4階大会議室
- お話する人
 大門実紀史氏(参議院議員)／吉良よし子氏(参議院議員)
 川村雅則氏(北海学園大学准教授)
 木村俊二氏(札幌地区労連事務局長)